

第XII因子		276000			
		担当部署			
factor12		血液			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		空腹時静脈より採血し、気泡、溶血及び組織トロンボプラスチンの混入を防ぐ。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1 全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量過不足の検体 4) サンプリングできない検体			
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部			

測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		60～140% EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 433				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
70	130	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		身体運動により活性は上昇する。妊娠中は増加する。				
臨床的意義		内因系凝固機序の初期反応に参画する接触相因子群である。第 XⅡ 因子は先天性欠乏症が報告されているが臨床上出血傾向を認めない。APTT は著明に延長するため、出血症状のない例でも各接触因子を定量する必要がある。 EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 432-434				